

<計算のきまり①>

組	番	名前
---	---	----

① 次のア～ウは、「計算のじゅんじょ」についてまとめたものです。①～③の  にあてはまる言葉や記号を  で囲みましょう。

ア ふつうは、 ① 左・右 から <sup>じゅん</sup>順に計算する。

イ ( ) のある式は、( ) の中を  ② 先・後 に計算する。

ウ  と、 とでは、 ③  ・  を先に計算する。

② 「 $6 \times 8 = 48$ 」をもとにして、アとイのかけ算の積<sup>せき</sup>を求めるとき、 にあてはまる数を書きましょう。

<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ア <math>6 \times 80</math></p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">イ <math>60 \times 80</math></p>
$6 \times 8 = 48$ $\downarrow 10\text{倍}$ $6 \times 80 = ?$	$6 \times 8 = 48$ $\downarrow 10\text{倍} \quad \downarrow 10\text{倍}$ $60 \times 80 = ?$
<input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/> 倍	<input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/> 倍

③ 160円のおかしを1こと、120円の飲み物を2本買って、500円玉を出しました。おつりを求める式になるように、下の式に ( ) をつけましょう。また、答えも求めましょう。

式 <input style="width: 300px; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	答え <input style="width: 150px; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/> 円
---	--

<計算のきまり①>

答え

組	番	名前
---	---	----

① 次のア～ウは、「計算のじゅんじょ」についてまとめたものです。①～③の  にあてはまる言葉や記号を  で囲みましょう。

ア ふつうは、①左・右 から <sup>じゅん</sup>順に計算する。

イ ( ) のある式は、( ) の中を ②先・後 に計算する。

ウ +, - と, ×, ÷ とでは、③ +, - ・ ×, ÷ を先に計算する。

② 「 $6 \times 8 = 48$ 」をもとにして、アとイのかけ算の積 <sup>せき</sup>を求めるとき、 にあてはまる数を書きましょう。

ア	$6 \times 80$	
	$6 \times 8 = 48$	
	↓10倍	↓ <input type="text"/> 10 倍
	$6 \times 80 = ?$	

イ	$60 \times 80$	
	$6 \times 8 = 48$	
	↓10倍 ↓10倍	↓ <input type="text"/> 100 倍
	$60 \times 80 = ?$	

③ 160円のおかしを1こと、120円の飲み物を2本買って、500円玉を出しました。おつりを求める式になるように、下の式に ( ) をつけましょう。また、答えも求めましょう。

式  $500 - (160 + 120 \times 2)$

答え 100 円